

平成 30 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	井戸尻を元気に！ 地域を元気に！
事業主体 (連絡先)	井戸尻応援団 諏訪郡富士見町境 7083
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	802,842 円 (うち支援金： 642,000 円)

事業内容

- 1、レンコン掘り事業 ・5/25,4/26,4/27,5/27,6/1,6/3,6/4 の7日間、延べ参加人数 101 名 。うち 5/27 は、観光協会おひさんぽと協同事業。富士見高校養蜂部、諏訪養護学校、外保育園からの参加もあった。
- 2、井戸尻を PR する事業 ・井戸尻のイベントを紹介するパンフレット作り 500 部を作製して配布 (町商工観光課も協力)・井戸尻のシンボルマーク作り (ワークショップ・投票)・展示用の写真を作成 (縄文王国収穫祭でシンボルマークの投票と合わせて活動紹介)
- 3、復元家屋-萱刈り 11/4,11/11,11/18,12/2.12/9,12/16,1/23,1/27 の8日間延べ参加人数 75 名・縄文住居の屋根の吹き替え作業を学ぶ講演会。11/25 参加人数：約 50 名



【萱刈り作業の様子】

【目標・ねらい】

- ① 地元住民が井戸尻を地域の宝として再認識
- ② 考古館とは異なった視点での井戸尻の魅力を発信
- ③ 復元家屋の葺き替え等の作業などのイベントを通じて継続的に関わってくれる人を増やす。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・3年目となったレンコン掘りには昨年の1.8倍の参加者があった。
- ・萱刈り作業には目標の1.5倍の参加があった
- ・各事業の参加者からの満足度が高かった。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1、レンコン掘りは定着してきており、富士見高校養蜂部に加え、養護学校の生徒や外保育園からの参加があった。延べ参加人数も昨年の1.8倍となった。
- 2、井戸尻関係のイベントを一つのパンフレットとしてPRすることができた。シンボルマークを作成する過程で多くの人々の参加を呼び掛けることができた。すでに考古館とできたマークで商品化を検討中・写真展示で活動の内容を具体的に知ってもらう事ができた。
- 3、萱刈り作業は大変な作業であったが、参加者からは本当の豊かさを考えるような感想が多く、今後も愛着を持ってもらう事につなげていくことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・シンボルマークを広めるために、ワッペンやファイル、マグネットシートなどを制作し普及に努める
- ・蓮を咲かせるために、来年度はスイレンの駆除を予定
- ・来年度は講演会やワークショップ形式をを交えながら、今年刈った萱で実際に葺く作業をする

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある